Neknaj Language Processing System

Bem130

2024/1/21

目次

第Ⅰ部	概要	1
1	特徴	1
第Ⅱ部	B-debt — Nekanj Programming Language	1
2	名称	1
3	サンプルコード	1
4	ツールキット	2
5	記法	2
5.1	コメント	2
5.2	型	2
5.3	式	2
5.4	文	2
5.5	ブロック	9
5.6	単ブロック	3
5.7	制御構造	3
5.8	関数	4
第Ⅲ音	ß Nekanj Virtual Machine	4
6	概要	4
7	命会セット	/

第一部

概要

スタックマシンを基本にした Bem130 の自作プログラミング言語とその処理システム

1 特徴

特徴	理由	主な対象
	中置演算子や括弧を含む式の解析が難しかった為	Bdebt
近 ホーノンド配伍	引数の式を先に書くことで処理の順番が明確になる為	
	等号として用いられる=との違いを明確にするため	
代入を表す:>	代入の方向を明確にする為	Bdebt
	顔文字のようで可愛い為	
右に記述する代入先の変数	式を先に書くことで代入の処理の順番が明確になる為	Bdebt
コメントアウトとノート	不要なコードと、必要なメモを区別するため	Bdebt
関数の定義の巻き上げ	定義文の前でも使用できるのが便利で気に入った為	Bdebt
変数の定義の巻き上げ	同じスコープの名前が指すものを統一する為	Bdebt
浮動小数点数は基数 10 が基本	2 進化による丸め誤差が気に入らなかった為	BemLib for NVM
コンパイル結果を include する	ソースコードの include が面倒そうに感じた為	NLPS
むやみにハンドリングする例外	例外の為に特別な処理を作るのが気に入らなかった為	NLPS

第川部

B-debt — Nekanj Programming Language

逆ポーランド記法を基本とするプログラミング言語

2 名称

当初 NLP(Neknaj Language for Programming) としていたが、NML(Neknaj Markup Language) との統一や、NLP(Natural Language for Programming, 自然言語処理) との混同防止の為、NPL(Neknaj Programming Language) と改名した。また、NPL への改名によって、NPL(Non-Performing Loan, 不良債権) と被った為、英語愛称を「Bdebt」「B-debt」(bad debt より)、日本語愛称を「不債」とする。

3 サンプルコード

```
!include: stdcalc;
!using: stdcalc;
!replace: pi: 3.1415; #* this is a block comment *#
!fn: 4.int(4.int: max): main {
    !local: 4.int: z; # this is a line comment
    0 0 add :> !local: 4.int: y;
    0 :> return;
}
```

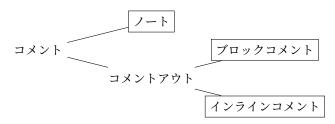
4 ツールキット

JavaScript 版と C++ 版があるが、どちらも完成していない

種類	ファイル名	説明
仮想マシン	nve.worker.js	
仮想マシン	nve.worker.cpp	
コンパイラ類	nlp.ts	
コンパイラ類	nlp.js	nlp.ts をコンパイルしたもの
エディタ	editor.html	nlp.ts 向けの GUI
エディタ	${\it debugger.html}$	nlp.ts 向けの GUI, editor.html よりも多くの情報を表示

5 記法

5.1 コメント



#: ノート

インラインコメント

#* ブロックコメント *#

5.2 型

サイズ.種類

5.3 式

トークンをスペースでつないだもの

トークン トークン トークン ...

5.4 文

5.4.1 トップレベルの文

■5.4.1.1 include !include: 名前;

■5.4.1.2 using

!using: 名前;

5.5 ブロック

文,構造を複数書いたもの 構造には、単ブロックと制御構造が含まれる ブロック要素には、文と構造が含まれる ブロックは入れ子にすることができる

```
{
ブロック要素
ブロック要素
...
```

5.6 単ブロック

ブロック;

5.7 制御構造

5.7.1 基本形

条件式, 種類, ブロック を組にしたもの 種類によって細かい記法は異なる

!ctrl:(式) 種類 ブロック;

5.7.2 while

!ctrl:(式) while ブロック;

5.7.3 if

基本となる if の後ろに、任意個の elseif と一つの else を付けることができる

!ctrl:(式) if ブロック;

!ctrl:(式) if ブロック else ブロック;

!ctrl:(式) if ブロック (式) elseif ブロック;

!ctrl:(式) if ブロック (式) elseif ブロック else ブロック;

5.8 関数

!fn:戻り値型(引数): 名前 ブロック;

5.8.1 引数

型: 名前, 型: 名前, 型: 名前, ...;

第Ⅲ部

Nekanj Virtual Machine

6 概要

1 ワード 32bits(4Bytes) のスタックマシン

7 命令セット

命令	引数	消費	追加	スタック長	処理	
00	push	v	-	V	+1	スタックに値 v を入れる
01	$_{\mathrm{fram}}$	n	-	$0(\times n)$	+n	スタックに n 回 0 を入れる
02	pop	-	\mathbf{v}	-	-1	スタックトップの値 v を 1 つ消す
03	popn	n	$v(\times n)$ -		-n	スタックトップの値 v を n 個消す
04	setv	1	v	-	-1	1個目のローカル変数に値 v を入れる
05	getv	1	-	v	+1	l 個目のローカル変数から値 v を複製する
06	setgv	g	v	-	-1	g 個目のグローバル変数に値 v を入れる
07	getgv	g	-	v	+1	g 個目のグローバル変数から値 v を複製する
08	seth	-	h v	-	-2	ヒープ領域の h 番目に値 v を入れる
09	getv	-	h	v	+1	ヒープ領域の h 番目から値 v を複製する
0a	jmp	p	-	-	±0	アドレス p までジャンプする
0b	ifjmp	p	cn	-	-1	cn が true ならば、アドレス p までジャンプする
0c	call	p	-	fp pc	+2	関数をの呼ぶ処理をし、アドレス p までジャンプする
0d	ret	n	$\mathrm{fp}\ \mathrm{pc}\ \mathrm{v}(\times \mathrm{n})$	-	-2-n	関数を呼ぶ前に戻って、引数分 n 回 pop する
10	equ	-	a b	v	-1	a == b
11	les	-	a b	V	-1	a < b
12	grt	-	a b	V	-1	a > b
13	not	-	a	v	± 0	not a
14	and	-	a b	v	-1	a and b
15	or	-	a b	V	-1	a or b
16	xor	-	a b	V	-1	a xor b
17	notb	-	a	V	± 0	not a
18	andb	-	a b	v	-1	a and b
19	orb	-	a b	v	-1	a or b
1a	xorb	-	a b	v	-1	a xor b
1b	lsft	-	a b	v	-1	a « b
1b	rsft	-	a b	v	-1	a » b
20	add	-	a b	V	-1	a + b
21	addc	-	a b x	c s	-1	a + b 繰り上がりは c

表 1 略語

NLPS	Neknaj Language Processing System
NPL	Neknaj Programming Language
NLPO	Neknaj Language for Programming - Object file
NVA, NVASM	Neknaj Virtual machine - Assembly language
NVMC	Neknaj Virtual machine - Machine Code
NVM	Neknaj Virtual Machine